

# KITO

## キトーレバーブロック® LX形

# LX003/005

### 取扱説明書

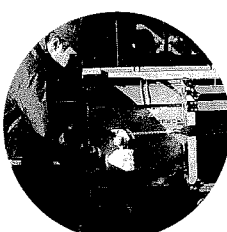
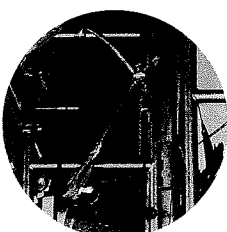
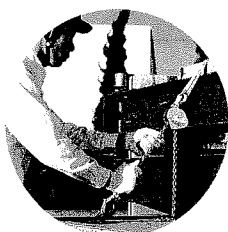
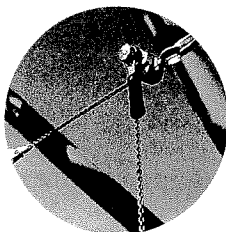


キトーレバーブロック **LX** 250kg/500kg



グッドデザイン賞  
金賞受賞  
(LX003)

- 荷締め
- 緊張
- 巻上・巻下
- 固定
- 位置  
合わせ
- ゆがみ  
取り
- 引き寄せ
- その他  
各種作業に



### お客様へ

- ◎ 作業の方および管理者の方は必ずお読みください。
- ◎ ご注文の仕様に間違いはありませんか。
- ◎ 梱包箱の中身を確認してください。
  - ①キトーレバーブロックLX形 ②保証書 ③取扱説明書(本紙)
- ◎ 外観、内容物等に異常はありませんか。
- ◎ LOTNO. (製品のネームプレートに記載)、ご購入年月日、ご購入販売店名等を右枠内に書き入れて、保証書と一緒に大切に保管してください。

■ LOT NO.

■ ご購入年月日

■ ご購入販売店名

# 警告表示の定義

この取扱説明書では、注意事項を「危険」、「注意」の2つに区分しています。

## ⚠ 危険

取扱いを誤った場合に、危険な状態が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合を示します。

## ⚠ 注意

取扱いを誤った場合に、危険な状態が起こりえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を示します。

なお、**▲注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので、指示事項は必ず守ってください。

本紙をお読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

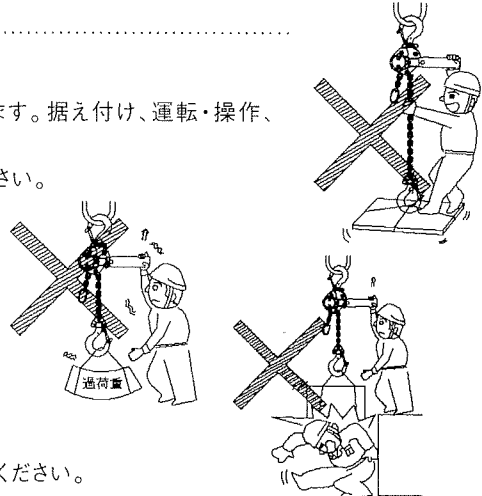
## 使用目的

キトーレバブロックLX形は、人間の手動力を使った、通常の作業環境下において荷を水平・斜め方向から引寄せたり、つり上げたり、また荷を締め付けたりする作業を目的に設計製作しております。人間の運搬用途として設計製作されたものではありません。また、お客様の設備機械の一部として組み込む等、予期せざる目的に使用された場合、機能・性能の保証はもとより、予期せざる使用に起因した事故につきましても責任は負いかねます。

## 使用上の安全注意事項

### ■安全規約

重い荷を移動する時、誤った操作や日頃の点検を怠れば常に危険が存在します。キトーレバブロックLX形の使い方を誤ると、つり荷の落下などの危険な状態になります。据え付け、運転・操作、保守点検の前に、必ずこの取扱説明書を熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報、そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。



### ⚠ 危険

- ◎人を支えたり、つり上げたり、運ぶために使用しないでください。
- ◎つり荷の下やつり荷の動く範囲に入らないでください。また、人の頭上を超えて荷を運搬しないでください。
- ◎定格荷重を超える荷は、絶対につらないでください。
- ◎製品および部品の改造は、絶対にしないでください。
- ◎LX003のシタカナグは分解しないでください。

### ▲注意

- ◎作業開始時には、周りの人に作業開始を知らせてください。
- ◎取扱説明書および注意銘板の内容を熟知しない人は操作しないでください。

◆キトーレバブロックLX形と組合わせて使用される製品、部品は、使用方法、強度を考慮し、適切な物を選定してください。

◆キトーレバブロックLX形のご使用に対し、日本国内には法規上特段の規制はありません。しかし、安全確保のため、「クレーン等安全規則」をご参照のうえ保守管理を実施し、また作業の方々に玉掛け技能や、クレーンの運転教育を実施されることをお勧めします。

### ■安全操作のための注意事項

#### ① 使用前における注意事項

### ▲注意

◎この取扱説明書は、実際にキトーレバブロックLX形をお使いになる作業の方を対象として内容をまとめております。安全および使用に関して、全ての内容を理解してからキトーレバブロックLX形を操作してください。

### ⚠ 危険

- ◎ネームプレートがはっきりと判読できない物は、使用しないでください。
- ◎ウエフック、シタフックに変形や傷がある物は、絶対に使用しないでください。
- ◎部品交換の際は、純正品以外は使用しないでください。

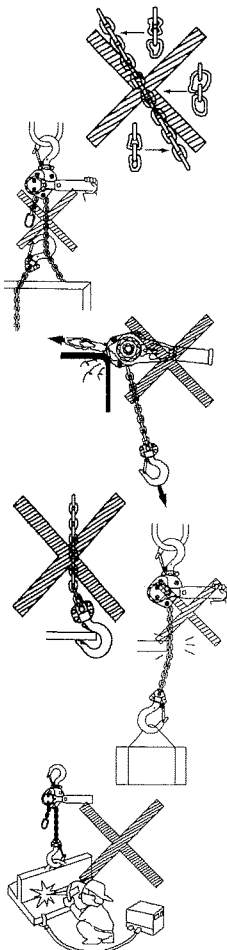
### ▲注意

- ◎作業者は、必ず6ページ「日常点検」を実施してから作業を始めてください。
- ◎作業内容を確認し、余裕のある定格荷重・揚程のキトーレバブロックLX形をお使いください。
- ◎フックラッチに変形や傷はないか、動きはスムーズか確認してください。
- ◎ブレーキ、遊転機能が正常に働くか確認してください。
- ◎ロードチェーンに油がついているか確認してください。
- ◎作業者は、次の点に注意して作業してください。
  - ・作業をする前に、作業環境を確認し、作業の邪魔になるような障害物が無く、作業範囲が見渡せることを確認してください。それが困難な場合は、その障害物近くに監視員を配置してください。
  - ・荷をつる前に、必ず遊転装置状態を解除していることを確認してください。(5ページ「遊転の操作方法」参照)

## ② 作業中における注意事項

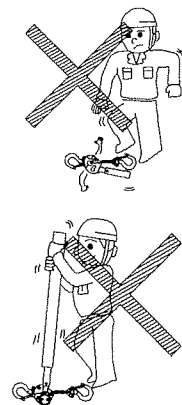
### 危険

- ◎ロードチェーンが変形したり傷付いたキトーレバブロックLX形は、絶対に使用しないでください。
- ◎ロードチェーンをつり具代わりに荷に巻き付けて使用しないでください。
- ◎本体を支点にするような状態で絶対に使用しないでください。
- ◎つった荷を揺らさないでください。
- ◎フックの先端で、絶対に荷をつらないでください。
- ◎ロードチェーンを鉄板等の角にあてて操作しないでください。
- ◎鉄板等をつった状態で、溶接作業や切断作業をしないでください。
- ◎荷をつった状態で、クサリメリングのロードチェーンを引張ったり、拘束したりしないでください。
- ◎荷をつった状態で、長時間放置しないでください。



### 危険

- ◎ロードチェーンを溶接作業のアースとして使用しないでください。
- ◎溶接等による火花が、キトーレバブロックLX形に付着しないようにしてください。
- ◎シタカナグが本体に干渉する位置まで、巻上げ作業をしないでください。
- ◎クサリメリングが本体に入る位置まで、巻下げ作業をしないでください。
- ◎損傷があったり異音をするキトーレバブロックLX形は、絶対に使用しないでください。
- ◎レバーを足で踏み付けるような操作は、絶対にしないでください。
- ◎パイプを差し込み、レバーを長くするような使い方は絶対にしないでください。
- ◎レバーのグリップが緩んだ物は、絶対に使用しないでください。
- ◎荷重が、フック中心の正しい位置に掛るように使用してください。
- ◎衝撃荷重がかからないように、ロードチェーンのタルミをとってから巻上げ操作を行ってください。
- ◎クサリメリング側のロードチェーンおよびクサリメリングには荷重を掛けないでください。



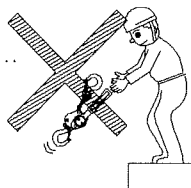
### 注意

- ◎レバー操作時に、ウエフックとレバーの間に手をはさむことがありますので、ご注意ください。

## ③ 作業後における注意事項

### 危険

- ◎キトーレバブロックLX形を持運びする時は、引きずったり、放り投げたりしないでください。



### 注意

- ◎運搬後は、荷物を自分の足の上に落としたりしないよう、安全に荷物を降ろしてください。

## ④ 保守点検についての注意事項

### 注意

- ◎点検は6ページ「定期点検」に従って定期的に行い、専任の保守管理者またはキトーにご相談ください。

### 危険

- ◎ロードチェーンの継ぎ足しや溶接は、絶対にしないでください。
- ◎ブレーキ部には油を付けないでください。

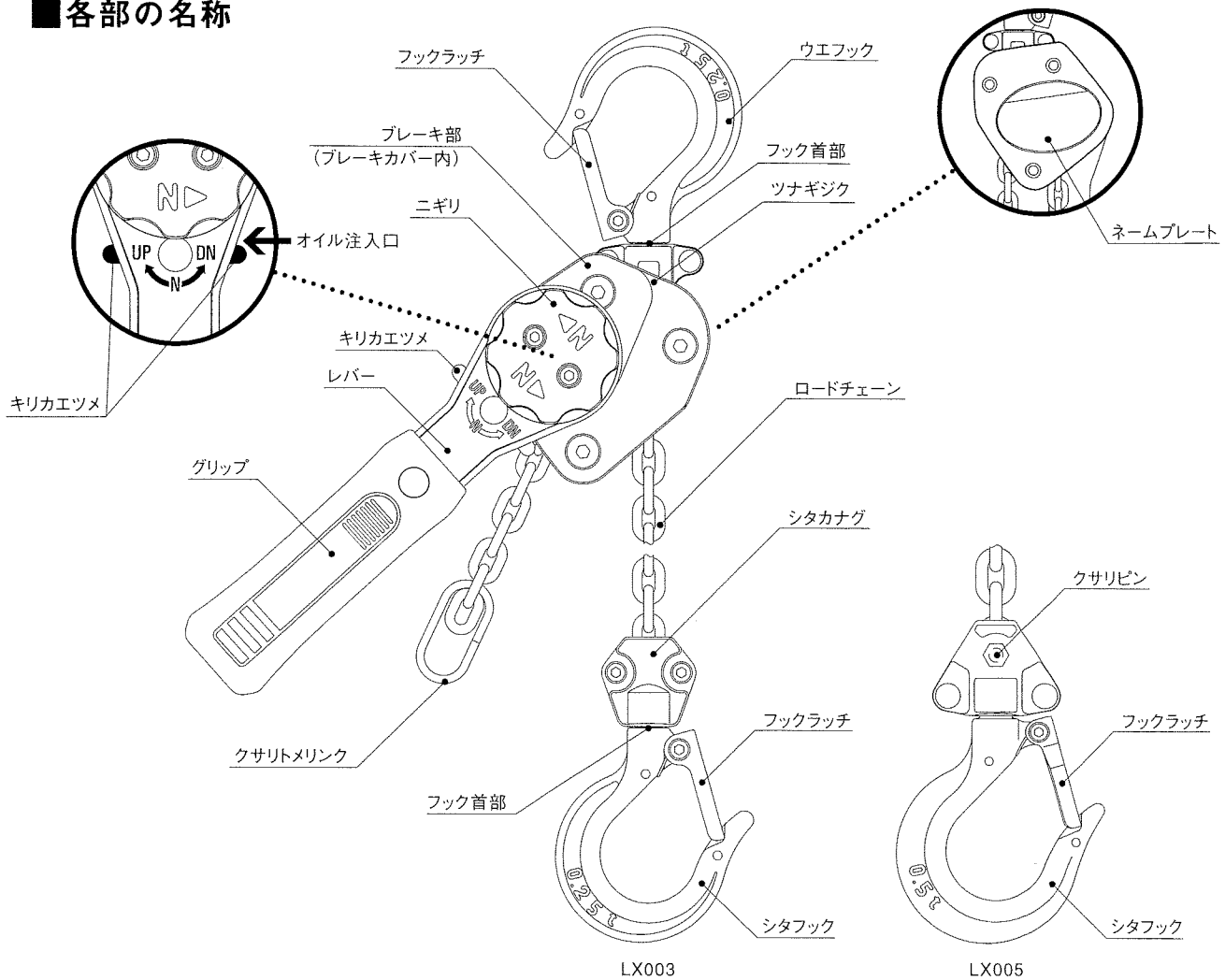
## ⑤ その他の注意事項

### 危険

- ◎故障したり、修理中のキトーレバブロックLX形は、使用しないでください。
- ◎特殊環境下（塩水、海水、酸性、アルカリ性、爆発性雰囲気等）でご使用になるときは、事前にキトーまでご相談ください。
- ◎ネームプレートの警告表示が剥がれているものは、絶対に使用しないでください。

# 主要諸元

## ■各部の名称



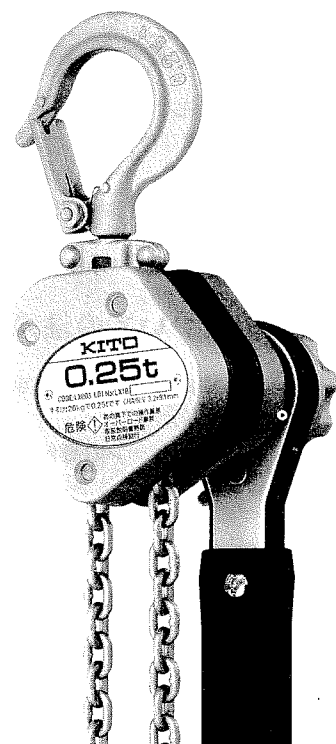
## ■諸元

形式	定格荷重 (t)	揚程 (m)	手動力※1 (N) [kg]	質量 (kg)	チェーン線径 ×ピッチ (mm)	チェーン掛数 (本)
LX003	0.25	1.0	200 [20]	1.6	3.2×9.0	1
LX005	0.5	1.2	310 [31]	2.6	4.3×12.0	1

※1: 定格巻上げ時に手にかかる力。

## ■使用環境条件

- ◆使用温度範囲 : -40℃ ~ +60℃
- ◆使用可能湿度 : 100%RH以下でお使いください。水中での使用は出来ません。
- ◆使用部材 : 標準的部材を使用しています。  
スパークレス等の特殊材は使用していません。  
アスベスト材は使用していません。

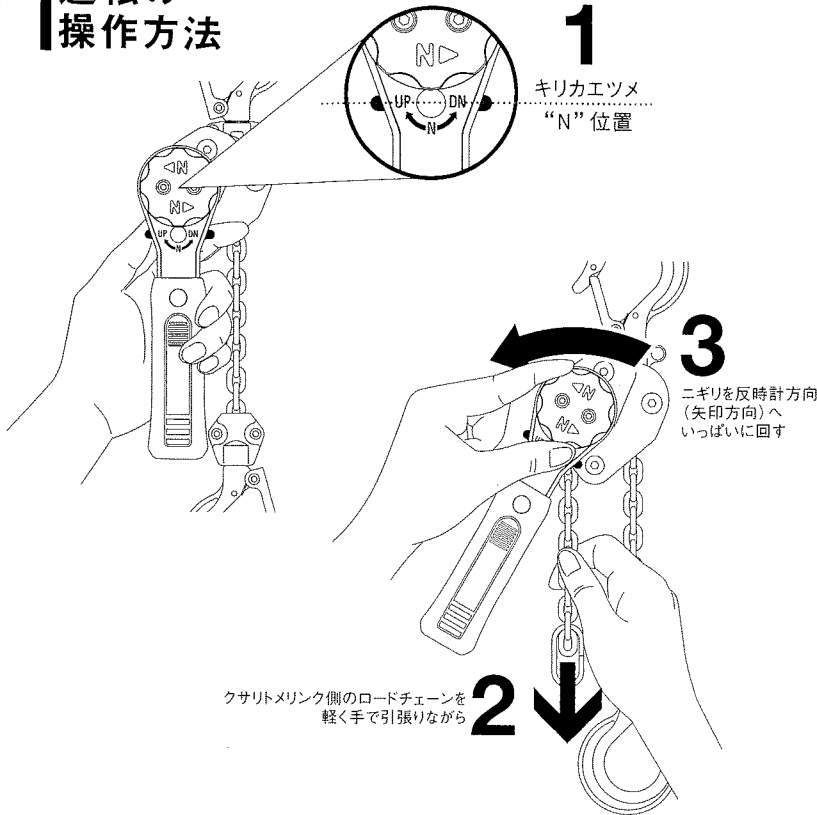


# 操作方法

重い荷を移動する時は、常に危険が存在します。  
2~3ページ「使用上の安全注意事項」と、本項全ての事項に従ってください。

遊転機能は、無負荷時にブレーキを開放することでロードチェーンを自由に動かすことを可能とする機能です。

## 遊転の 操作方法



1 キリカエツメをレバーから左右均等に突き出すように、中立の位置に合わせてください。  
(この位置が“N”位置)

2 クサリメリンク側のロードチェーンを軽く手で引張りながら、

3 ニギリを反時計方向(矢印方向)へいっぱい回すと、遊転状態になります。

これで、ロードチェーンを自由に動かすことが可能となりますので、シタフックを作業しやすい位置に動かしてください。

◎遊転にならない場合は、ブレーキが締まった状態となっています。クサリメリンク側のロードチェーンが動かないように、しっかりと握った状態で、巻下げ操作(下記参照)を行なってください。

### ●遊転操作の解除方法

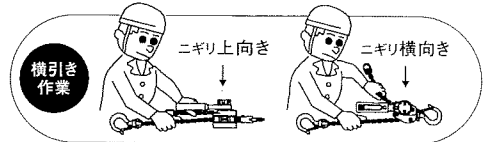
遊転操作を解除するには、シタフック側のロードチェーンを軽く手で引張りながらニギリを時計方向(ニギリ上の矢印の反対方向)に回すか、巻上げ操作を行うことで、ブレーキの遊びがなくなり、レバーによる操作が可能となります。

### ⚠ 危険

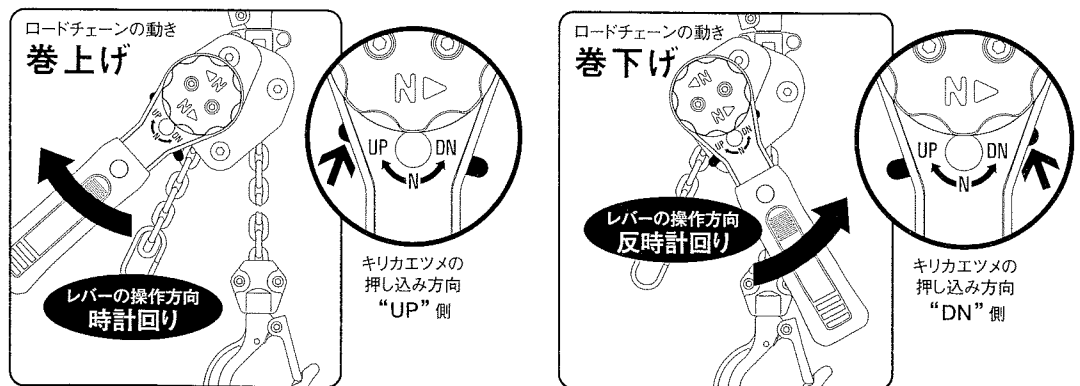
- ◎荷重が掛かっているときには、遊転操作をしないでください。
- ◎キリカエツメが“DN”状態のまま、クサリメリンク側のロードチェーンを引張らないでください。※レバーが勢い良く回転します。

### ⚠ 注意

- 遊転状態でロードチェーンを急激に引張らないでください。
- ◎強くロードチェーンを引き過ぎると、ブレーキが作動し、ロードチェーンが動かない場合があります。
- ◎この場合、一度巻下げ操作を行なってブレーキを解放し、遊転操作し直してください。
- ◎横引き(水平方向)作業に置いて、本体がニギリ上向きの場合には、上記と同様にブレーキが作動し易くなりますので、本体をニギリ横向きに向けて操作してください。



## 巻上下の 操作方法



### ⚠ 危険

- ◎巻上下の作業中は、ニギリに触れないでください。
- ◎荷重を保持するときには、キリカエツメを必ず“UP”位置にしてください。また、ニギリに触れないでください。

### ⚠ 注意

- ◎キリカエツメの位置は、作業方向と一致しているが常に確認しながら作業を行ってください。
- ◎無負荷または軽荷重(約3kg以下)時、レバーを巻上下操作しても、ロードチェーンが巻上下方向に動かない場合には、シタフック側のロードチェーンを張りながら操作してください。※異常ではありません。

# 使用後の手入れと保管時の注意事項

◆キトーレバーブロックLX形を使用した後、また保管する時は、以下の項目を遵守してください。

## ▲注意

- ◎負荷状態で保管しないでください。
- ◎使用後は、汚れや水分を拭き取っておいてください。
- ◎ロードチェーン、フック首部、フックラッチ、クサリピン(LX005のみ)、ツナギジク(ウエフック取付け部)、キリカエツメ部には常に塗油してください。ただし、ブレーキ部には注油しないでください。 ※各部位は4ページ「各部の名称」を参照ください。
- ◎塵埃等が付着しないようにして、乾燥した場所に保管してください。
- ◎使用後に何か異常を感じた場合には、6ページの「定期点検」の項目に従って、点検を実施してください。

## 定期点検

### ■点検の概要

定期点検には、作業者が作業前に行う日常点検と、十分な知識があり、なおかつ分解作業が可能な保守管理者が行う、より詳細な定期点検があります。定期点検については、より詳細な定期点検マニュアルもご用意しておりますので、最寄りの弊社営業所までご相談ください。(各営業所は裏表紙をご覧ください)

### ■日常点検

◆日々の作業前に下記の項目をチェックしてください。

項目	点検方法	判定基準	対処方法(判定基準を満たさない時)	
<b>1</b> ネームプレート	目視	●ネームプレートがしっかり付いており、表示内容がはっきり読めること。	ギャケースクミを交換する。	
<b>2</b> 機能	①巻上げ	●キリカエツメの“UP”側を押し込んだ状態で、シタフック側ロードチェーンを片手で軽く引張りながら、もう一方の手で巻上げ操作を行う。	●巻上げ時も、レバーを戻す時も「カチカチ」と鳴ること。	分解して点検する。
	②巻下げ	●キリカエツメの“DN”側を押し込んだ状態で、シタフック側ロードチェーンを片手で軽く引張りながら、もう一方の手で巻下げ操作を行う。	●巻下げ時には、音がしないこと。 ●レバーを戻す時には「カチカチ」と鳴ること。	正常に組み立てられているか、部品に異常がないか、分解して点検する。
	③遊転機能	●キリカエツメを中立の“N”に合わせニギリを左へ回し、遊転状態にして、ロードチェーン長さを調整してみる。	●ロードチェーン長さがスムーズに調整できること。 ●ニギリが軽く回ること。	キリカエツメ部に塗油する。 それでも改善されない場合は、正常に組み立てられているか、部品に異常がないか、分解して点検する。
<b>3</b> フックラッチ	目視	●フックラッチに変形や傷が無いこと。	フックラッチを交換する。	
<b>4</b> フック	目視	●ウエフック、シタフックとも変形や傷がないこと。 ●ウエフック、シタフックともフック首部が軽く回転すること。 ●シタカナグ固定用のボルト・ナットに緩みのないこと。(一部のLX003のみ)	フックを交換する。	
<b>5</b> ロードチェーン	目視	●目立つほどの錆が無いこと。 ●ロードチェーンに油が付いていること。 ●傷や変形の無いこと。	錆を除去する。 ロードチェーンに塗油する。 ロードチェーンを交換する。	
<b>6</b> その他	目視	●ナット・ワリピン・グリップ・クミネジの緩み・脱落が無いこと。 ●外観上、傷や破損が無いこと。 ●ロードチェーンの無負荷側末端のクサリメリンクに脱落や変形が無いこと。	部品を交換する。	

分解組立マニュアル、故障の原因と対策、定期点検基準マニュアル等の管理者用資料も別途準備しています。最寄りの弊社営業所までご相談ください。(各営業所は裏表紙をご覧ください)

MEMO 定期点検等のメモ書きにご活用ください。



**お客様相談センター**

**TEL: 0120-988-558**  
**FAX: 0120-988-228**

E-mail: [callcenter@kito.co.jp](mailto:callcenter@kito.co.jp)  
◎受付時間 9:00～17:00(土・日・祝日を除く)

本 社 工 場 〒409-3853 山梨県中巨摩郡昭和町築地新居2000

東 京 本 社 〒163-1416 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティビル16F

東京営業部		TEL.(03)5371-7320	FAX.(03)5371-7318
札幌営業所	〒003-0022 札幌市白石区南郷通8丁目南1-8	TEL.(011)864-3264	FAX.(011)864-3265
仙台営業所	〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野2-10-36	TEL.(022)291-8145	FAX.(022)297-1976
新潟営業所	〒950-0912 新潟市南笹口1-1-13	TEL.(025)247-1381	FAX.(025)243-0798
小山営業所	〒323-0822 小山市駅南町2-18-3	TEL.(0285)28-1141	FAX.(0285)28-1155
熊谷営業所	〒360-0012 熊谷市上之852	TEL.(048)527-8050	FAX.(048)527-7370
千葉営業所	〒260-0044 千葉市中央区松波1-11-3	TEL.(043)206-0611	FAX.(043)206-0614
横浜営業所	〒223-0057 横浜市港北区新羽町776	TEL.(045)546-3551	FAX.(045)546-3558
甲信営業所	〒409-3853 中巨摩郡昭和町築地新居2000	TEL.(055)275-7608	FAX.(055)275-7598
静岡営業所	〒436-0029 掛川市南1-6-15	TEL.(0537)61-1177	FAX.(0537)61-1178
名古屋営業部	〒465-0013 名古屋市名東区社口1-1004	TEL.(052)726-8686	FAX.(052)726-8689
北陸営業所	〒920-0022 金沢市北安江1-1-1	TEL.(076)262-3611	FAX.(076)262-3880

西 部 支 社 〒570-0003 大阪府守口市大日町2-10-3

大阪営業部		TEL.(06)6907-0601	FAX.(06)6907-0614
岡山営業所	〒700-0975 岡山市今5-13-36	TEL.(086)243-0882	FAX.(086)241-0926
広島営業所	〒734-0015 広島市南区宇品御幸3-2-2	TEL.(082)251-8800	FAX.(082)251-8816
福岡営業所	〒812-0007 福岡市博多区東比恵3-27-10	TEL.(092)483-6861	FAX.(092)483-6869

URL <http://www.kito.co.jp>

●「レバブロック」は、(株)キトーの登録商標です。